

支持的風土の醸成のページ

支持的風土の醸成
の考え方

令和4年度
の方針と取組

支持的な学級づくり
のヒント

支持的風土だより
「テロワール」

支持的風土の醸成の考え方

支持的風土を醸成するために

まずは 教師が理念を理解する

そして 子どもも理念を理解する

子ども自身が価値やよさを自覚する

支持的風土とは

認め合い、助け合い、
期待をかけ合い、高め合う
温かい学級の風土

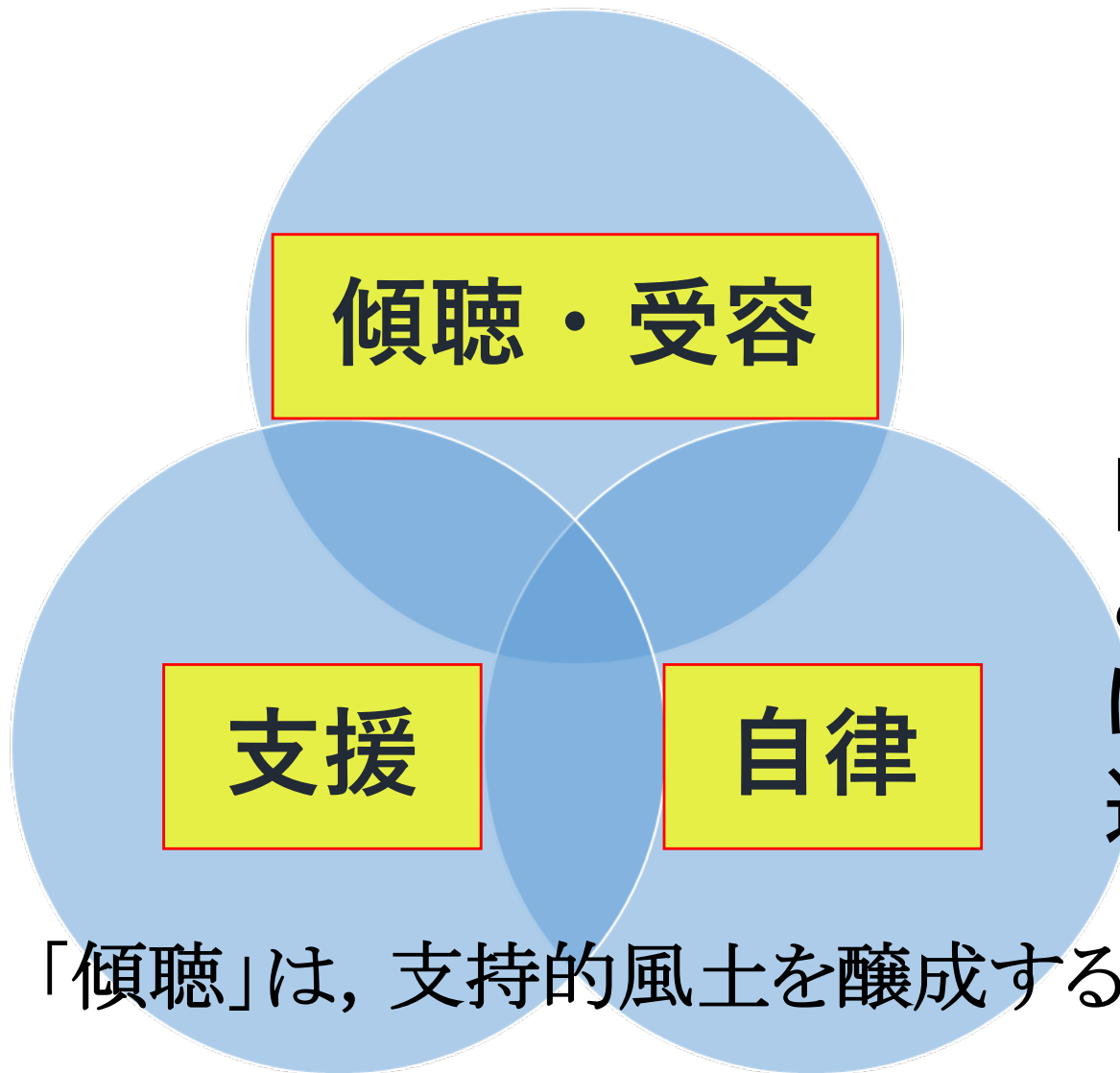
支持的風土づくりには次の3つが大切

支援

傾聴・受容

自律

支持的風土の醸成とは



「傾聴・受容」

「支援」

「自律」は、

目指す目標である
と共に支持的風土
に向かうための筋
道でもある。

「傾聴」は、支持的風土を醸成するうえで最も重要である。



傾聴・受容

相手を理解するために、積極的に関心をもって注意深く聴くこと。

そのためには、言語メッセージだけでなく、表情、しぐさ、声の調子から、言葉の背後にある感情を受け止めて共感することが大切である。

傾聴を行うことで、引き出された相手の気持ちや考えを尊重し、相手が、安心感を得ること。

そのためには、聴き手が、相手の考えや感情をそのまま受け止める態度や姿勢を示すことが大切である。

「傾聴」は...

信頼関係の構築の基礎基本である。

対話的な学習の基礎基本である。

- 自分の話を聴いてくれる者とは
人間関係ができていく
- 聴き手の態度と聴き手の反応に
よって対話は決まる
- 優れた話し手は、優れた聴き手に
よって育てられる

傾聴・受容

支援

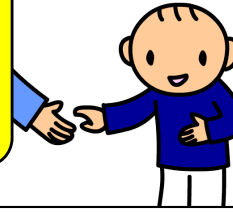
児童生徒が、「傾聴・受容」によって、一人一人の人間として大切にされているという実感がもてたとき、自己や他者を尊重しようとする感覚や意志が芽生え、そして育つようになる

一人一人が大切にされているという実感

自分は	仲間	に	受け入れられている
自分は	仲間	から	期待されている
自分は	仲間	の	支えになっている

相手の立場や状況、気持ちに応じる
相手に自信をもたせる

支援



相手が困っているときには、だれかれなく進んで手をさしのべること。

相手の立場や状況，気もちに応じた援助をし，相手に自信をもたせること。そのためには，手をさしのべる，時には見守るなど相手の身になって援助することに心がけることが大切である。

子どもは どの子も **成長への意欲**をもっている

一人一人の成長への願いを学級全員が理解して、学級全員のさらなる成長を目指すことの大切さを全員が心から思って学習・生活できるようにする。

- ▲ みんなで手をつないで同時にゴールするということではない
- ▲ 一部(特定)の子どもだけが向上し、他の子どもが取り残されるということではない

支援

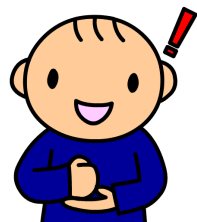
全員でゴールを目指す

切磋琢磨し、個性を十分に発揮しながら
みんなで伸びていくこと、みんなでゴール
を目指そうという気持ちになること

そのためには、

「傾聴・受容」はもちろん、「**支援**」が必要

誰もが、誰に対しても、いつでも、自然に
支援できることを目指していく



自律

事実を基に的確に状況を捉え、自分の目標、集団に共有されている価値に照らして適切に判断し、行動できること。自分の行動に責任をもつこと。

自分の行為を振り返り、今後どうすべきかを考えること。

令和4年度の方針と取組

支持的風土の醸成とは

認め合い、助け合い、期待をかけ合い、
高め合う 温かい学級の風土

傾聴・受容

目標であり
筋道である。

支持的風土づくりには次の3つが大切

支援

自律

「傾聴」は、支持的風土を醸成するうえで最も重要である。

傾聴・受容

- ・信頼関係の構築の基礎基本となる
- ・対話的な学習の基礎基本となる

自分が大切にされているという**実感**

自分は	仲間	に	受け入れられている
自分は	仲間	から	期待されている
自分は	仲間	の	支えになっている

支援

- ・相手の立場や状況, 気持ちに応じる
- ・共に学び 相手に自信をもたせる

R4

自分の力でできたという**実感**

一人一人の力が発見, 自覚, 発揮できる
機会や場面を積極的に用意して応援する

自律

支援

子ども同士の支援

一人一人の成長への意欲と願いを互いに理解して、全員での成長を目指す。

切磋琢磨して個性を発揮しながらゴールを目指す

誰もが、誰にでも、いつでも、自然に支援する

教師の心構え

可能性を信じて待つ、見守る、ゆだねる

みんなが成長するために、安心して「できない」や「わからない」が言える学級を目指す。

価値観を教師が手本となって共有する

子どもが価値やよさを自覚できるようにする

自律

事実を基に的確に状況を捉え、自分の目標、集団に共有されている価値に照らして適切に判断し、行動できること。自分の行動に責任をもつこと。

自分の行為を振り返り、今後どうすべきかを考える

自治的な集団をつくる

集団に必要な規律やルールを自分たちで決め、それを進んで守り、自分たちの問題や課題は、自分たちの力で知恵を出し合いながら仲間とともに解決しようとする集団をつくる。

PDCAサイクルを学級として機能させる

特別活動など

他律的な罰則を伴うものではない

支持的な学級づくりのヒント

GAKKATSUサプリメント

No,1 学級開きを考える

No,6 かかわり合う力を育てる

No,2 人間関係形成の見方

No,7 話し合える学級をつくる

No,3 学級経営での心構え

No,8 話し合い活動のススメ

No,4 学級に居場所と仕事①

No,9 話し合い力を育てる

No,5 学級に居場所と仕事②

支持的風土だより

「テロワール」

バックナンバー

令和元年度

第1・2号

第3・4号

第5号

第6号

第7号

第8号

第9号

第10号

第11・12号

第13・14号

第15号

令和2年度

第16号

第17号

第18号

第19号

第20号

第21号

第22号

第23号

第24号

第25号

第26号

令和3年度

第27号

第28号

第29号

第30号

第31号

第32号

第33号

第34号

第35号